

呉市手をつなぐ育成会

～4月号～

2019年4月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 香川 治子

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館 3階

Tel (0823)24-2260

Fax (0823)24-2568

E-mail kure-teotunagu@herb.ocn.ne.jp

育成会だより

障がい児者を守り、その福祉を図ることを目的としま
す



『はるがきたよ!』

呉本庄つくし園 園児



もくじ

4月の予定

- p. 1…表紙 呉本庄つくし園 園児さん作品
- p. 2…元気になる研修会 報告・感想
- p. 3…元気になる研修会 感想・アンケート
- p. 4…参加者アンケート
- p. 5…本人活動報告・卒業激励会・広告
- p. 6…卒業・終了おめでとう
保護者からメッセージ
- p. 7…手をつなぎ生きる
【春に】/上野 かおり
【高等部卒業おめでとう】/佐野 友美子
- p. 8…寄付のお礼
お知らせ・編集後記

4月 7日 (日)

「お花見の会」串山公園

集合 10時半 呉駅4番乗り場

4月 21日 (日)

本人部会会議 10:30～(つばき会館)

うたう会 13:30～(つばき会館)

【本人部会は毎月第三日曜日が開催日です】

※いくせい太鼓の練習日は直接
お問い合わせください。





元気になる研修会 福岡 寿 氏

相談支援と地域生活支援拠点の充実



報 告

3月5日(火)13時から呉市広市民センター502会議室に於いて、講師に日本相談支援専門員協会顧問 長野県自立支援協議会会長 福岡寿様をお迎えして「元気になる研修会」を行いました。当日は保護者・事業所の職員の方々・行政の方々等約100名余りの方が参加されました。施設の職員の時代に、地域の中でグループホームの取り組みを始められ、利用者の本音をくみあげサービスにつなげていく、また、保護者とかかわり寄り添っていく中での、相談支援専門員としてのかかわり方、親亡き後の本人さんたちを支えるための支援会議の大切さ、また、地域の中にある事業所同士の横のつながりをもち連携をすることにより、情報を共有化することの必要性など事例を通して聞くことができました。

長野県北信圏域での基幹相談センターが中心になっての担当者とのプラン作り(災害になったときの災害プラン、全くサービスを利用していない方たちの予防プラン等)にも取り組まれています。

後半では、3件の事例について映像より、行動障害や自閉症などの子どもさん(成人)を自宅で行う支援の仕方、スタッフとのかかわり方、また小学校での特別支援学級の子どもさん(4年)における取り組み方を見ていきました。

また、乳幼児期から支援が必要と思われるすべての子どもさんに対して、専門分野のスタッフが入り、現場とともに本人が適応障害にならないように、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校(高等部)と一貫した取り組みを継続されていて、定期的に保護者を含めての個別支援会議を行い、どんな支援が必要かを見極めていくことを相談支援専門員を中心として取り組まれています。

呉市においても障害のある方たちが、本当に困った時に寄り添っていただける事業所などが増え、住みよい地域になっていくことを願っています。(井村 律子)

感 想

福岡先生が、VTRを見せて下さいました。“障がい者と、家族を、24時間支える取り組み”のなかで、障がいのある息子さんが体調不良で、お母さんが外出できない日のことでした。

支援センターの方が、自宅へ様子を見に来て下さっていました。

お母さんは、2・3日買い物も行けず、困っていたようで、支援センターの方は、「今、行っていただいて良いですよ。」と話され、お母さんは「本当に？」と、安心した様子で出掛けられました。近くに家族や、頼める人がいない方は、困っていたり、全てを家庭で抱えているのかもしれないと感じました。

このような取り組みが広がっていくと、障がい者本人、また家族も、安心して暮らせるように感じました。(松岡 絵美)



福岡寿さんのお話を聞いて

長野県では、専門家が保育園などに入って子ども様子を観察し、特性のある子には、幼児期からその子に応じた取り組みをしていくそうです。しかも、保護者や担任の先生をはじめ、本人の生活を見守る人たちでチームを作り、定期的に会議を開いているとのこと。

この取り組みによって、子どもたちは成長しながら徐々に社会になじんでいくことができるそうです。一人の子どもに対してチームで取り組むという方法は、素晴らしいと思います。

保護者を孤独にすることなく「私達みんなで支えていきますよ!」というメッセージにもなっていて、子どもの成長を前向きに理解するための良い場となっているのでしよう。

障がいのある子を育てる家庭に対して、その家庭に危機が迫った場合を想定しての「クライシスプラン」などをあらかじめ作っておくという話もありました。



「備えあれば憂いなし」というように、これは本当に命に関わる重要なことだと思えます。

しかし、このような計画が立てられるのも、その子の家庭環境を周りの皆が認識しているからです。

障がいのあるなしに関わらず、子どもの成長を見守っている人は保護者だけではありません。

誰もが気忙しい今の私たちの身の回りには、子どもの成長や環境を共有できる関係がどれだけあるでしょうか。

「伝え合うことで得るもの」はきっと沢山あるんだろうなあと感じると同時に、「伝え合えないことで失うもの」もまたあるような気がしました。

行政の取り組みはもちろん大切だと思えますが、子どもに関わる大人、一人ひとりの心がけによってはじめの一步は踏み出せるのかもしれないと感じました。

深田 聡美

「相談支援と地域生活支援拠点の充実」

日本相談支援専門員協会顧問
長野県自立支援協議会会長

福岡 寿氏



参加者アンケートから



呉市でも乳幼児期から色々な関係者の方が集まり子どものことを話し合う場が出来たらと思います。障害児は健康児と分けて支援することが現実にあります。

保育所でも福岡先生の研修からの学びを所での研修の参考にさせてもらいました。
今回の研修会に参加して良かったです。保育所の研修会に来て頂きたいと思いました。

具体的な話が多くわかりやすいお話しでした。



地域生活支援拠点「児童デイ・放デイを太らせない…」とても心に響きました。
皆と関わりの中で支援し育てていく。胸がスカッとした瞬間でした。



相談支援専門員として身につまされる話もありました。地域の中での役割をいまいちど見直し、利用者さんの人生をチームで考えていかなければならないなと深く考えました。

社会で生活する為の支援で、自分の知らないこともたくさんあり、とても勉強になりました。保育所等からの本人に関わる人数の多さにも驚きました。

前半のクライシスプランと予防的支援プラン、後半の適応障害を作らない取り組み、興味深かったです。
個別支援会議の大切さや、乳幼児期の保育所や学校への入り込み、呉でもできたらいいなあと思いました。



参加者アンケートから

発達障害を作らない取り組みの大切さを感じました。連携、地域ぐるみの長期間にわたる支援に共感しましたが、現実どのように関わっていけばよいか、保護の理解はどのようにすればよいか、わからないことだらけです。私自身の力量のなさを痛感しました。

長野のように保育園から福祉事務所、行政、親と一体となって、子どもたちを見ていけたら本当に適応障害にならないのだろうか。実際に拠点をも、悩みながらやっていくしかないなと思いました。福祉事務所同士の横のつながりも大切ですね。素晴らしいお話がきけて、良かったです。

地域生活支援拠点の充実…子育て支援拠点の充実の考え方と全く一緒であった。家庭や地域が担っていた役割をやはり事業者がある程度担う時代なのだと思う大変重要な講演会でした。



早い時期にたくさんの支援者が関わることで、その人生が大きく変わるということを学んだ。障害児（者）の支援はコツコツと積み重ねる。

自分の仕事の怖さを感じた。呉市の現状はまだ予防支援にはなっておらず保護者は子守りの為に放課後デイを利用する方がほとんどである。自分たちがすることはまず知識を得ることだと改めて思った。ありがとうございました。

目からうろこの話の内容でした。先生の著書を読みたいと思います。社会に対して障がい者をとりまく環境に不満がありますが本日の講演を聞いて胸がスーとしました。呉の障がい者をとりまく環境を変えるように辛い思いをする人が少なくなる安心できる世の中を作らなくてはいけないなと思いました。

長野県の取り組みがあまりにも進んでいて、正直驚きでいっぱいでした。そのなかでも、「乳幼児期からの相談支援員含め、自閉、発達障害に対しての集まりを定期的に関く環境があれば適応障害をつくることはない」という言葉が私にはショックでした。それでもそのときは、一生懸命で、保育士さん、先生、今では事業所の支援員さんに手厚く関わっていただいています。縁あって呉に育った我が子のこれからを考えながら、本日の研修会の内容を頭に入れ、残しておきたいです。

本日は遠くない将来に向けても大変勉強になるお話を伺いました。

昨年、長女が利用している小学校併設の児童会に車椅子のおそらく知的障害のある児童を児童会職員がつきっきりで見っていました。私は、「何でこんな手のかかる子を児童会で見ているんだ」と思いましたが、本日の話を聞いて、それが当たり前のことにしていかなければならないと感じました。

19歳の息子に対して、今、必要な支援が・・・ということが少しわかったように思います。将来は心配ですが、今の相談支援をもっとふくらませて、もっと多くのことができるようにしていきたいと思います。

相談支援専門員として私に何ができるのか、何をすべきなのか・・・本人のこと、その家族のこと、考えすぎてしまいます。相談支援専門員2人で170人以上の利用者を抱え、ひとり一人のニーズに応えられていると感じることは少なく、投げ出したくなる日々の中で、この研修に参加でき、お話を聞かせて頂くことができたこと、大切にしたいと思います。

率直に長野県の体制をうらやましく感じた。こんなふうになればいいなと思うことを、丁寧に実現されているなと思いました。生まれた県、住む県でこんなにも違いがあることは不公平だと感じてしまいました。こんなふうを感じることはない地域にしたいとも思いました。

ほんにんかつどうほうこく
本人活動報告

たはら ひでとし
田原 秀登志



今年度最後の話し合いをしました。最初に一人ずつが話しました。みんなケガなく元気に過ごせてよかったです。今年は災害や台風が多くいろいろな行事が中止になりました。(勉強会・みかげコンサート・福祉まつり・ボーリング大会)次はちゃんとやりたいです。



次に県大会のテーマを考えました。「輝く」「はばたく」「未来」の3つを組合わせて、『みんなで輝く未来へはばたこう』にしました。

4月の行事だけ決めました。たくさんの人に来てほしいです。

「お花見の会」4月7日(日) 串山公園 呉駅前10時半集合 4番乗り場!

呉市立中学校特別支援学級 合同校外学習・卒業生激励会 ~グリーンピアせとうち~

2月22日(金)卒業生激励会に、参加させて頂きました。ステージでの決意発表は大変素晴らしく、在校生の贈る言葉も温かく感動いたしました。我が子や自分自身の中学校時代を思い出し、思わず涙がこみあげてきました。



本当にいい会でした。
皆さんおめでとうございます。

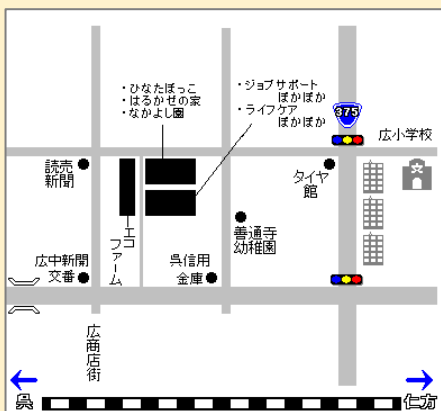
広
告

就労継続支援B型
ジョブサポートぽかぽか
生活介護
ライフケアぽかぽか

4/1 移転

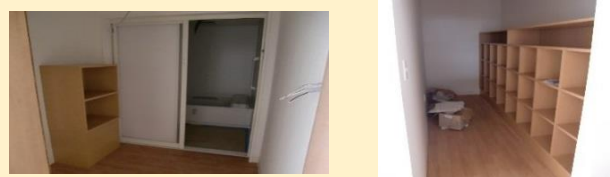
4/1 開始

※ 見学等、お越しく下さい。



<新住所>

〒737-0124 呉市広中新開2丁目4-25
TEL : 0823-72-7817 FAX : 0823-72-7827
(電話番号、FAX番号に変更はございません)



お豆腐作りをメインに作業
しています!



卒業おめでとう

いつも前向きに何でも取り組む
竜太！。

学校では生徒会長、サッカー療育
ではリーダーとしてみんなをまとめ
てくれましたね。一人で出掛けた時、
困っていた外国人から英語で話しか
けられても逃げずに助けてあげたこ
と、とても立派でした。これからも人
の役に立てるような大人になってく
ださいね。 竜太ママ

とても小さく生まれ、産声も
弱々しく、明日の命も分からなか
ったのに、今は元気に歌を唄い、
CMのフレーズを口にし、周りを
笑わせてくれる。あなたなりに成
長し続けるその姿が私たちの希
望です。あなたに、そして支えて
くれている皆さんに ありがと
う。(mjr)

寿輝へ

18年、本当に早かったなあ…
試行錯誤を繰り返した18年…
寿輝のおかげで親になり、たく
さんの事を経験し、勉強させて貰
いました。そしてこれからももっ
とたくさん勉強させて貰います
♡
チャンスをくれてありがとう
.....

卒業おめでとう。

3年間よく頑張ったね。
先生方には色々な経験をさせて頂いた
り、息子のペースに合わせて頂き、毎日
笑顔で学校へ通うことができました。
卒業後の新しい生活も元気に過ごせ
ていけるよう見守っていきたいです。
佐藤 公美

卒業・修了した
わが子へ
おかあさんからの
メッセージ



あつと言う間の学生生活でした
ね。
今まで経験した事を糧に、これ
からも笑顔で貴方らしく過ごして
くれたらと思います。
いつでも見守っています。
高校、卒業おめでとう。
近藤 洋子

日々の生活に終われ、気が付けば学校生活も最後とな
りました。毎日学校に送って行っていた事もあり、自分
も一緒に卒業するようで、うれしくもあり、寂しい気持
ちです。

本当に色々な事がありましたが、息子を通してたくさ
んの素敵な方々に出逢えた事は、私の人生で大きな支え
となっています。これからは社会人です。たくさんの不
安はありますが、一番の良き理解者であり、見守ってい
きたいと思います。 息子よ、頑張れ！！ 中元 由美

3年前に自閉症スペクトラムと診断を受け、初めは集
団行動が苦手、一人遊びが多く人への関心が薄い、言葉
が出にくいなど、保育所生活での困難に悩む日々でし
た。

しかし、今まで少しずつ息子のペースで成長し続け、皆
と一緒に保育所生活を楽んでいる姿が見られるよう
になってきました。4月からは小学校で今までと全く
異なる環境・生活になりますが、息子のペースで焦らず
私も一緒に成長していけるといいなと思っています。
倉谷 薫

まだまだ小さいと思っていたのに、あつという間に
卒業し春から社会人。たくさん不安もあるけど、少し
ずつ自分で未来を切り開いてくれたらいいね
これからも、ずっと応援しています。 たえこ

高等部卒業によせて

誠の障がいがあり、子育ての難しさをいつも感
じてきました。
四月からは、環境が変わりますが、誠が楽しいと思
えることが、1つでもあるようにと願っています。つ
らい時の周り方々からの暖かい助言に感謝していま
す。今後もよろしくお願いします。 大下 淳子





3月、息子は特別支援学校の高等部を卒業しました。「なかなかしゃべらんねえ…」一歳半を過ぎても、言葉らしい発語の無い息子を心配しつつも、男の子は言葉が遅いからと言う周りの声に、そのうちにこの子も話し始めるだろうと期待し毎日を送っておりました。言葉に比べて歩き始めるのは早く、高いところから飛び降りようとしたり、家を抜け出し裸足のまま近くの公園で滑り台をしていたことも。多動で、外出先では追いかけるのも一苦勞でした。

療育を受け始めたのは2歳6ヶ月の時。妹が生まれ、2ヶ月を過ぎ家庭訪問で保健師さんが家に来られた折、娘のことではなく息子の発達について相談しました。

それを機に、呉市のすこやかセンターで開催されていた「ちびっこ教室」や呉本庄つくし園の集団外来へ通い始めました。

3歳になって団地内にある地域の幼稚園に入園してからは、呉市ことばの教室とつくし園の集団療育に月に数回通っていましたが、年長からはつくし園に入園しました。

息子が大きく成長したのは小学校へ入学してからです。1年生の時の情緒障害学級では、担任と指導員の先生2名に対して、児童は息子を含む2名のクラスだったので、マンツーマンの指導を受けることが出来ました。担任の先生は、偏食だった息子に食べる楽しさを教えてくだ

さいました。補助輪なしで自転車に乗れるようになったのも先生のおかげ。通学は、近所の上級生に関わってもらい、最初は私も一緒に登下校の付き添いをしていましたが、しばらくすると子供たちだけで登校できるようになりました。

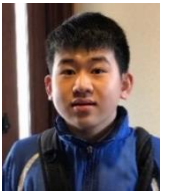
通学路沿いにある子ども110番の家の方には、毎日の声かけや見守り、時には『ズボンのウエストが緩いようだ』なんてことまで教えていただきました。

地域の中学校を卒業後は、呉特別支援学校の高等部に入学し、多くのことを学びました。

小さい頃から苦手だったコミュニケーションは今でも苦手意識があります。入学時は自分から話しかけたり、人との会話に入ろうとしなかった息子ですが、少しずつ関わることもできるようになりました。

学校での作業学習や職場実習を通して、就労の意味を学び、自分で「この会社に入りたい」と意思決定ができるまでに成長しました。

4月から、社会人として新たなスタートを切ります。まだまだ課題も多く、親としては大丈夫だろうかと不安もありますが、前を向き進もうとする息子を、見守りながら良き支援者となれるよう、私もこれから努力し続けたいと思います。



高等部、卒業おめでとう

12年間の学生生活が終わりました。振り返ると、小学校に入学したのが初めの一歩でした。

だれも知り合いがない小学校への入学は、とても不安だったのを覚えています。

みんなと一緒に事ができないのを目の当たりにし、落ち込む日々を過ごしました。

先生たちの指導が悪いんじゃないかと苛立つことも多く、息子の成長を見つけることも、喜ぶことも忘れていました。

そうした日々を過ごしながらも、先生や周りの子どもたちに助けられながら学校生活を送っている姿を見ると、息子のペースがあったんだと思いつくことができました。

佐野 友美子

毎年行われる学校行事では、ぐーんと成長した姿を見せてくれ、とても頼もしく思いました。

地元での小学校・中学校生活では周りの理解とサポートにとっても助けられました。

高等部では、仲間と共に色々な経験をさせてもらいました。

カフェでの接客、呉駅や昭和市民センターの清掃活動など、人のために働くといった経験はとても貴重なものでした。

そういった経験を重ねることで、自分のことだけでなく人のことも考える力が少し育ったように思います。

4月からは、事業所への通所生活が始まります。伸びしろたっぷりの自分を信じて頑張ってほしいと思います。



かしの木 まつり



テーマ ～平成最後のかしの木まつり～新たな時代へ
平成31年4月27日(土)・28日(日)

時間：10:00～15:00

場所：かしの木片山 呉市東片山町12-19

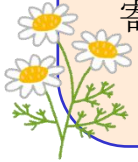
問合せ：0823-21-0101

※かしの木まつり当日、駐車場はありませんので
公共交通機関をご利用の上ご来場くださいませ。

ありがとうございました

【順不同・敬称略】

書籍 福岡 寿
切手 匿名
寄付金 頼本 良輔
(4区民生委員)



呉市手をつなぐ育成会総会 ご案内

日時：5月16日(木) 17:30～
場所：シティプラザ すぎや
懇親会：19:00～21:00



第21回「広島県障がい者水泳競技大会」

日時：4月29日(月・祝)

場所：スポーツ交流センターおりづるプール



第13回広島県障がい者陸上競技大会

(第19回全国障がい者スポーツ大会)

「いきいき茨城ゆめ2019」広島県代表選手選考会)

日時：年5月19日(日) 9時20～16時30

会場：広島県立びんご運動公園陸上競技場

問合せ：広島県障がい者スポーツ協会 (tel082-426-3333)

スポーツ交流センターおりづる (tel082-425-6800)

講演会のお知らせ

テーマ「大人の事例を通して、二次障害や行動障害がなぜ起こるのか、それを防ぐために、早期からできることとは何か」

日時：6月9日(日)

開始：10時00分～12時00分(開場9時30分)

場所：くれ絆ホール

演題：「自閉スペクトラム症の生きづらさの理由を考えた
～大人の発達障害から見えてくるもの～」

講師：田中 康雄 先生

こころとそだちのクリニック むすびめ 院
(精神保健指定医・児童精神科医・臨床心理士)

問い合わせ先：呉本庄つくし園 0823-33-8020



編集後記



春「ピカピカの一年生が嬉しそうに登下校
しています。幼稚園・保育所・小中学校・高等
学校：社会人一年生の方も多いことと思いま
す。
日々の積み重ねを大切にされ、課題を周りの
皆さんと共有しながら、子どもさんの成長
を見守っていただきたいと思っています。
夢をもってスタートさせた皆さんに、実り多
き一年となりますよう願っています。
育成会も新しい年度になり、より一層精進
してまいりますのでご支援・ご協力をよろしく
お願いいたします。

広島県手をつなぐ育成会 互助制度のご案内

(育成会の入院保険・AIG損保の普通傷害保険)

心身に障害のある人が病気やケガで入院をし、付添看護が必要と
なったときや、突発的に他人に損害を与えたときの大きな出費にそ
なえて、いざというときのためにみんなで助け合いましょう。これ
が「広島県手をつなぐ育成会 互助制度」です。

詳しくは呉市手をつなぐ育成会まで 24-2260

新規申込み受け付中!